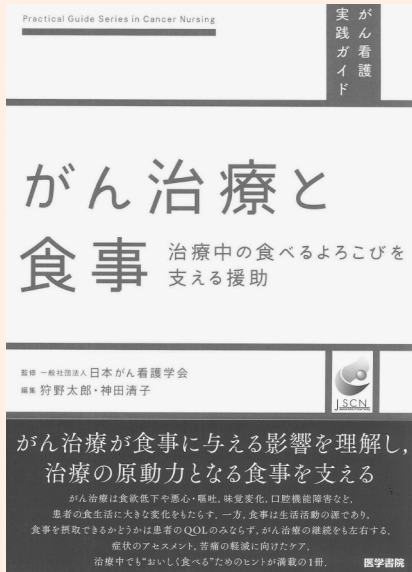




《がん看護実践ガイド》

がん治療と食事

治療中の食べるよこびを支える支援

日本がん看護学会＝監修
狩野太郎・神田清子＝編
本体 3000 円＋税
医学書院 ☎ 03-3817-5657

がん治療の副作用のために「食べられない」「食べたくない」といった現象は、多くのがん患者を襲う。食事を摂取できるかどうかは、患者の QOL のみならず、がん治療の継続をも左右する。本書は、そうした副作用のメカニズムを解説したうえで、特徴的な状況（症状と経過）に合わせた、患者個々への食事の工夫と看護援助とともに、チームアプローチのあり方を紹介。具体的支援の数々を伝授する。

介護をはじめるときに読む本
家族のための在宅医療入門

浅井真嗣＝著
本体 1400 円＋税
幻冬舎 ☎ 03-5411-6222



病院の医療と自宅へ届けられる医療とは、どう違うのか。経験に裏づけられた知識・技術の知見だけでなく、在宅で命を支えるときの医療者の構え、終末期を支えるチームの育成の方法を、あますことなく伝える。「在宅医療」のメリットを医師の視点で家族に解く好著。

オープンダイアログとは何か

斎藤環＝著・訳
本体 1800 円＋税
医学書院 ☎ 03-3817-5657



フィンランド発の精神疾患へのアプローチ「オープンダイアログ」。当事者や家族を含むチームで対話を重ねるだけのシンプル手法。「対話は手段ではない。それ自体が目的である。治療は副産物としてやってくる」(カパー見返しより)。先駆者セイククラ氏の 3 本の論文を含め、その理論と哲学、実践が明らかにになる。

幸せな旅立ちを約束します
看取り士

柴田久美子＝著
本体 1300 円＋税
コスモ 21 ☎ 03-3988-3911



「抱きしめて送りたい」。「看取り士」として、看取りの瞬間に自らの生と逝く人の生の融合を実感した著者こそ、その言葉である。終末期を在宅で過ごす人の増えるなか、看取り士たちによる「エンゼルチーム」が、人々の死への恐れを静かに、やさしいものへと変えていく。

開業ナースのエッセンス
「暮らし」に伴走する看護のすすめ

村松静子＝編
本体 2000 円＋税
日本評論社 ☎ 03-3987-8621



「暮らし」に伴走し、さまざまな職種・立場の人々をつなぐことができる開業ナースならではの視点から、「こころ」に敏感に寄り添い、五感を駆使して状況を判断する看護師本来のあり方とともに、その可能性（潜在能力）を広く発信する。